

ウイルス生態学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kobayashi S, Fukuda Y, Yoshii K, Thammahakin P, Maezono K, Eyer L, Růžek D, Kariwa H: Development of recombinant West Nile virus expressing mCherry reporter protein.. Journal of virological methods 317: 114744, 2023. doi: 10.1016/j.jviromet.2023.114744. (IF: 2.2)
2. Kobayashi S, Kawakami R, Takeda C, Maezono K, Thammahakin P, Eguchi H, Bernard M Hang'ombe, Orba Y, Sawa H, Yoshii K, Kariwa H: Ubiquitin accumulation induced by the finger and palm sub-domains of NS5 modulates the replication of West Nile virus.. Virology 588: 109902, 2023. doi: 10.1016/j.virol.2023.109902. (IF: 2.8)
3. Ohira M, Yoshii K, Aso Y, Nakajima H, Yamashita T, Takahashi-Iwata I, Maeda N, Shindo K, Suenaga T, Matsuura T, Sugie K, Hamano T, Arai A, Furutani R, Suzuki Y, Kaneko C, Kobayashi Y, Campos-Alberto E, Lisa R Harper, Juanita Edwards, Cody Bender, Pilz A, Ito S, Frederick J Angulo, Wilhelm Erber, Harish Madhava, Jennifer Moisi, Luis Jodar, Mizusawa H, Takao M: First evidence of tick-borne encephalitis (TBE) outside of Hokkaido Island in Japan.. Emerging microbes & infections 12(2): 2278898, 2023. doi: 10.1080/22221751.2023.2278898. (IF: 8.4)

A-c

1. Kaneko C, Yoshii K, Kirino Y, Kobayashi S, Arikawa G, Hotta A, Misawa N, Inoue S: The 'World Café': Strengthening Rabies Prevention with the Government–Academia Collaboration in Japan. One Health for Dog-mediated Rabies Elimination in Asia : 47-59, 2023. doi: 10.1079/9781800622975.0005.

B 邦文

B-a

1. 好井健太郎: ダニ媒介性脳炎治療法開発のための核酸アナログによるウイルス増殖抑制機序に関する研究. THE CHEMICAL TIMES 268(2): 21-25, 2023.
2. 上田 広之, 小林 進太郎, 好井 健太郎, 北海道獣医師会小動物臨床部会: 北海道獣医師会が行った飼育犬・猫のダニ媒介性脳炎の疫学調査について. 北海道獣医師会雑誌 67(3): 78-82, 2023.
3. 山口 宏樹, 駒込 理佳, 三好 正浩, 伊東 拓也, 後藤 明子, 三津橋 和也, 渡 慧, 山野 公明, 小林 進太郎, 菊 和 宏明, 好井 健太郎: ダニ媒介性脳炎における検査法の評価および後方視的調査結果について. 病原微生物検出情報月報 44(8): 128-130, 2023.
4. 渡 慧, 山口 宏樹, 三津橋 和也, 田宮 和真, 小林 進太郎, 好井 健太郎, 松田 麻未, 鈴木 亮介: 北海道におけるダニ媒介性脳炎の発生状況調査およびその新規診断法について. 臨床とウイルス 51(3): 113, 2023.

B-c

1. 大平 雅之, 好井 健太郎, 高野 愛, 麻生 泰弘, 中嶋 秀人, 水澤 英洋, 小林 康宏, Harper Lisa R., Edwards Juanita, Bender Cody, Pilz Andreas, Angulo Frederick J., 和田 耕治, Erber Wilhelm, Madhava Harish, Moiesi Jennifer C., Jodar Luis, 高尾 昌樹: 日本における原因不明の脳炎および髄膜炎患者におけるダニ媒介性脳炎の関与. 臨床神経学 63(Suppl.): S216, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	3	2	16

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
好井健太郎・教授	常任世話人	トガ・フラビ・ペスチウイルス研究会
好井健太郎・教授	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人日本学術振興会
好井健太郎・教授	評議委員	日本獣医学会
好井健太郎・教授	幹事	ヒトと動物の共通感染症研究会
好井健太郎・教授	事務局（世話人）	日本脳炎ウイルス生態学研究会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
好井健太郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))「マダニ感染モデルを用いたダニ媒介性ウイルスの感染機構解明に向けた国際共同研究」
好井健太郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「ウイルスの適応・進化における宿主RNA依存性RNAポリメラーゼの意義の解明」
好井健太郎・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「ダニ媒介性ウイルスの宿主における増殖・病態発現機序の解析」
好井健太郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「新規脳内分子輸送法を応用したウイルス性中枢神経疾患に対する発展的治療法の開発」
好井健太郎・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	代表	新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）「多分野融合による節足動物媒介性ウイルスの宿主間伝播・病態形成機構の解明と治療法創出に関する研究開発」

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
好井健太郎・教授	ダニ媒介感染症” SFTS” に注意	Nらじ	2023年10月19日	ダニ媒介性ウイルス感染による重症熱性血小板減少症候群についての解説を行った。

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
好井健太郎・教授	令和4年度日本小動物獣医学会 北海道地区学会会長賞	日本小動物獣医学会	人獣共通感染症の医学界との連携強化推進～飼育犬・猫のダニ媒介性脳炎の疫学調査～